

## 第2・3学年 複式国語科学習指導案

日時 平成17年 9月30日(金) 5校時  
児童 第2学年 男子3名 女子2名 計5名  
第3学年 男子5名 女子2名 計7名  
指導者 菅原 紀子

### 1 単元名

2年 だいじなところに気をつけて読もう  
教材名

2年 サンゴの海の生きものたち  
もとかわ たつお  
光村図書2年上

3年 大事なことをたしかめよう

3年 すがたをかえる大豆

国分 牧衛  
光村図書3年下

### 2 単元について

2年生は、これまでに「たんぼのちえ」の学習において、時間の流れに沿って文章を読み取る学習をしてきた。このことを通して文章に出てくる言葉に着目した読み取りや、順序を考えながら読む力も身に付いてきている。しかし、個人差があり順序を表す言葉や指示語の指す言葉を見つけられない子どもも見られる。また、接続語の理解も十分とはいえない。

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。

本単元は、教材文を読むことで子どもの知的好奇心を働かせ、新たな疑問を解決するために読書へと広げる学習に適した単元といえる。また、本単元で扱う教材文「サンゴの海の生きものたち」は、子どもにとって水族館や図鑑などで見たことのある生き物が取り上げられており、多くの子どもが親しみを持つと思われる。ただし、これまで読んできた説明的文章に比べて次の点で複雑になっている。取り上げる生きものの数が多い。生きもの相互の関係も入り組んでいる。だが、おおまかに「初め」と「終わり」さらには「中1」「中2」という文章の構成を把握させながら説明的文章を読む方法を身に付ける第1歩となる教材であることは確かである。

指導にあたっては、まず題名に着目させて、教科書の写真を順番に見て内容の大体を理解させる。次に、想像をふくらませ感じたこと、不思議に思ったことを出し合わせて教材文への興味を喚起させたい。

また、「ふかめる」段階においては、「初め・中・終わり」のなかの「初め」の記述を丁寧

3年生は、「ありの行列」の学習において、問題提示から解決までの経過を順序を考えて読み取る経験をしてきた。しかし、文のまとまりに気づくことができない子どもや文頭や文末表現などを表す言葉があることに気づくことのできない子どもも見られる。また、音読の苦手な子どもがいるので、一斉読だけでなく一人読みなども取り入れて、個々の伸びがみられる指導をしていく必要がある。さらに、2年生と同様に、一人学びの仕方が十分に定着していないため、どのように学習を進めたらよいか迷っている様子も見受けられる。

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。

本単元は、段落構成や中心となる語や文などを明確に読み取る学習ができるとともに、読みの学習を通して身につけた力をもとに、疑問や興味を持ったことについて本で調べ文章にまとめる学習に適した単元である。また、本単元で扱う教材文「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には子どもにも分かりやすい。大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多い。そのため、子どもが意外性を持って知ることの喜びを与えられる内容といえる。また、教材文に出てくる接続語や文型も、後の書く活動のよい参考例ともなる。

指導にあたっては、まず、題名や写真に着目させる。そこで、大豆を使った食品について知っていることを発表させながら、疑問や興味・関心を持ってこの教材に取り組みさせていく。ま

に読むことで読み進める方向づけをしていく。第1段落の典型的な共生関係を表す記述である「たがいに役に立つようにかかわり合っている」を教材を読む視点としたい。その記述に着目させて、中心となる生き物とその関係を主語・述語に着目しながら理解させていくことを重点指導内容と考えて繰り返し指導していく。また、生きものたちとのかかわり合いを表す言葉を手がかりにして事柄の順序を考えながら内容の大体を捉えさせる。さらに、最後の段落で「このように」という形で、文章全体をまとめていくことも理解させたい。「一人学び」の時間を充実させ、子どもがそれぞれ自分なりに学習が進められるようにノート・プリント指導を工夫していきたい。「まとめる」段階では、教材文に出てきた生き物について振り返る。そして、海の生き物たちについてさらに知りたいことを話し合い読書へとつなげていく。「ひろめる」段階では海の生き物の本を読み、文と絵にまとめて相互に読み合い、友だちの文章のよさにも目を向けさせていきたい。

た、「ふかめる」段階では各段落の1文目に注目させたい。「～するくふう」がどの段落にも登場している。このことから、大事な言葉と捉え重点指導内容として繰り返し取り上げていく。また、大豆をおいしく食べる工夫と食品を書き出して整理させることで食べ物がいくつに分けて書いてあるか確認させる。それぞれの食品の加工の技の違いを読み取らせる。さらには、段落の中で中心となる文を捉えさせ、段落の要点にも迫っていきたい。また、「一人学び」の時間を充実させるために、学習の流れを一人一人にしっかりと指導し、2年生と同じように自分なりに学習が進められるようにノート・プリント指導を工夫していきたい。「まとめる」段階では接続語に注目させて、全文を「初め・中・終わり」の大きなまとまりを理解させ段落構成を理解させる。「ひろめる」段階では「米」という食べ物について調べ学習を行う。それぞれの食品毎に文章を書き、新しい事柄を述べるときは教材文の接続語を参考にして書き、相互に読み合いよいところを見つけさせていきたい。

### 3 研究の仮説との関わり

<ul style="list-style-type: none"> <li>主語・述語に着目して読み取りをさせる。 (仮説1 指導内容を重点化したくり返し指導)</li> <li>生きものたちのかかわり合いを表す言葉に着目しながら読み取らせる。 (仮説2 キーワードをもとに読み取る指導の工夫)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続語から段落相互の関係を考えながら読み取りをさせる。 (仮説1 指導内容を重点化したくり返し指導)</li> <li>大豆に手を加える工夫を表す言葉に着目しながら読み取らせる。 (仮説2 キーワードをもとに読み取る指導工夫)</li> </ul>
---	---

### 4 単元の目標

国語への関心・意欲・態度	
<ul style="list-style-type: none"> <li>海の生きものの共生関係や、説明的文章の組み立てに興味を持って読もうとする。(ア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な食べ物について知識を得るとともに興味を広げようとする。(ア)</li> </ul>
読むこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読み取ることができる。(イ)</li> <li>語や文のまとまり、内容のまとまりを考えながら声に出して読むことができる。(エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫を正しく読み取ることができる。(イ)</li> <li>内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読み取ることができる。(オ)</li> </ul>
書くこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館などの本を読んで「生きものカード」を作ることができる。(イ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の接続語や文型をもとにして、段落と段落の続き方に注意して「米」からできる食品について書くことができる。(エ)</li> </ul>
言語事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>主語と述語の関係に注意しながら、文を読むことができる。(エ(ア))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体について、段落の役割を理解できる。(オ(イ))</li> </ul>

5 学習計画 第2学年(12時間)

段階	学習活動	時	評価規準
つ か む 2	1 全文を読んで、学習の見通しをもつ。 教科書の写真を見ながら海の中のイメージを広げる。教師の範読を聞いて、感じたことや考えたことを書き、感想をもつ。 学習のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。 ・「だいじなところに気をつけて読もう」という単元名に着目させ「海の生きものずかんをつくらう」と呼びかけてめあてを持たせる。 ・全文を通読する。	1  1	・写真を見ていきものの名前や気づいたこと「なぜ」と思ったことを発表している。(発言)【関】 ・ノートの初発の感想を発表している。(発)【関】  ・学習の見通しをもっている。(発言・ノート)【読】 ・まとまりの語や文として、はっきりと音読している。(音読)【読】
	2 それぞれの生きものたちのかかわり合いを読み取る。 話題提示の文を読み取る。  イソギンチャクとクマノミとのかかわり合いを読み取る。  ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いを読み取る。(本時) クマノミとイソギンチャクとのかかわり合いを確認する。 ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いを確認する。	1  1  1  1  1	・話題提示の文を読み取っている。(ノート)【読】 ・イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取っている。(サイドライン・発・ノート)【読】 ・ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取っている。(サイドライン・発・ノート)【読】 ・イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを動作化している。(動作)【読】 ・ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを動作化している。(動作)【読】
ま と め る 2	3 生きものたちのかかわり合いをまとめる。 教材文に出てきた生きものについて振り返り感想を書く。 さらに知りたい生きものについて話し合う。	1  1	・生きものたちのかかわり合いを中心に感想を書いている。(発・ノート)【読】 ・教材文最後の文を取り上げ「他の生きもの」へ興味を広げている。(発・ノート)【読】【関】
	4 本を読んで「海の生きものずかん」をつくる。 海の生き物の本を探して読む。  読み取ったことを文と絵にまとめる。  グループで読み合い良さを見つけ合う。	1  1  1	・生き物の知恵に着目して読んでいる。(読書・ノート)【読】 ・初めて知ったことやなるほどと思ったことをカードに写している。(カード)【書】 ・友だちの良さを見つけている。(発言)【読】【関】

第3学年(12時間)

段階	学習活動	時	評価規準
つ か む 2	1 教材文を読み学習の見通しをもつ。 題名や写真から、知っていることなどを発表し交流する。 全文を通読し、大豆を使った食品を確かめる。  大豆の食べ方がいくつあるか予想しながら学習の見通しを持つ。	1  1	・題名について、自分の考えを発表している。(発言・ノート)【関】 ・初めて知ったことを発表している。(発表・ノート)【関】  ・全文を通読し、大豆が姿を変える方法がいくつ例示されてあるかを予想している。(ノート)【読】
	2 段落ごとにまとまりに気をつけながら読みとる。 第1・2段落の「大豆の説明」の文から「いろいろな手を加えておいしく食べる工夫」を見つけそれを読み取っていくという学習の仕方を理解する。 大豆をそのままの形で加工する工夫について読み取る。  粉に引いて食べる工夫・栄養をとりだして違う食品にする工夫について読み取る。(本時) 小さな生物の力を借りて違う食品にする工夫・時期や育て方の工夫について読み取る。 終わりの部分を読み取る。	1  1  1  1  1	・大豆の説明が書いてあることを理解している。(発言・ノート)【読】  ・大豆をおいしく食べる工夫とその食品を読み取っている。(サイドライン・発・ノート)【読】 ・工夫とその食品を読み取っている。(サイドライン・発・ノート)【読】  ・工夫とその食品について読み取っている。(サイドライン・発・ノート)【読】 ・終わりの部分を読み、食べ方が考えられた理由と筆者の感想を理解している。(発・ノート)【読】
ま と め る 2	3 文章構成を把握する。 初め・中・終わりという構成になっていることを理解する。 中はいくつの部分に分かれているかを確認する。 それぞれの段落の小見出しを考え文章の構成を確認する。	1  1	・段落の役割を理解し、中の部分の工夫と食品を整理して書いている。(ワークシート)【読】  ・段落に小見出しをつけ段落意識を持ち段落相互の関係を理解している。(ワークシート)【読】
	4 米についての情報を集め情報を整理して短作文を書く。 図書資料で米について調べる。  教科書の作文をもとにしながら短い作文を書く。 友だちと読み合い良さを見つける。	1  1  1	・あらかじめ用意していた本で米からできる食品について調べメモを書いている。(ノート)【書】 ・教科書の文の構成や接続語を参考にしながら作文を書いている。(ノート)【書】 ・友だちの作文の良さや初めて知ったことなどを発表している。(発)【読】【関】

(1) 目標		第2学年	第3学年	
ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いを読み取ることができる。			大豆を粉にひいて食べる工夫，大切な栄養を取り出して違う食品にする工夫について読み取ることができる。	
(2) 授業仮説				
主語・述語をはっきりさせるとともに事柄の順序を押さえて読むことにより，ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いの読み取りが確かなものになるであろう。			大豆をおいしく食べる工夫について難語句や過程に気をつけて読むとともに，その工夫からできる食品とを結びつけることにより，正しく読み取ることができるであろう。	
(3) 展開				
前時の指導				
イソギンチャクとクマノミとのかかわり合いを読み取る。 ・イソギンチャクとクマノミの様子について読み取る。 ・主語・述語やかかわり合いを表す言葉に着目してクマノミが安全なわけを読み取る。(仮説1・2) ・イソギンチャクが安全なわけを読み取る。(仮説1・2)			そのままの形でおいしくする工夫について読み取る。 ・おいしく食べる工夫をキーワードにしながら，いると豆まきの豆になることを読み取る。(仮説2) ・にるとに豆になることを読み取る。(仮説2) ・工夫と食品を説明する。	
指導上の留意点	学習活動・内容	学習形態 段階	学習活動・内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>登場してくる生き物について写真から2・3年生一緒に確認させる。</li> <li>ホンソメワケベラと大きな魚の行動に気をつけて読むことを捉えさせる。</li> </ul>	1 学習課題を確かめる。 ホンソメワケベラと大きな魚はどんなかかわり合いをしているのだろう。	つかむ	1 学習課題を確かめる。  おいしく食べるくふうとできる食品はなんだろう。	第4段落の最初に「次に第5段落の最初には「また」と書かれてあることを確認し，学習計画を立てる段階でも工夫の2つ目3つ目であることを予想していたことに気づかせる。(仮説1)  ・学習課題から「くふう」と「食品」に気をつけて読むこと捉えさせる。 ・一人学びの手順を説明する。
文末表現「から」に着目させながら，主語述語に注意し，わけが書いてあるところにサイドラインを引かせる。(仮説1)	2 ホンソメワケベラが大きな魚に食べられないわけを読み取る。 (1) 大きな魚の中に入って行くホンソメワケベラについて押さえる。 (2) 食べられないわけについて書いてあるところにサイドラインを引く。  大きな魚たちは，体や口の中についた虫を，ホンソメワケベラが取ってきれいにしてくれるのを知っているから。	ふかめ	2 おいしく食べる工夫とできる食品について読み取る。 (1) 2つ目の工夫と食品についてノートに書き抜く。  (2) 3つ目の工夫と食品についてノートに書き抜く。 ・書き抜いた文を確認する。  (3) 書き抜いた文と教科書の26ページの挿絵と写真を対応させる。	・難語句については前もって調べさせておくが，辞典を使って調べてもよいことを話す。  ・自分たちで書き抜いた文を確認できるよう，プリントを用意しておく。  ・その後の読み取りに生かせるように「粉にひく動作」と「しぼり出す動作」の挿絵と「きなこ」「とうふ」の写真を用意しておき，書き抜いた文と対応させる。  ・確認と対応が終わった子どもには学習範囲を微音読させる。
でも，ただ～ありませんに着目させて掃除をしているだけ	(3) ホンソメワケベラがそうじをして食べ物を得ていることについて話し合う。 ・「でも，ただ～ありません。」を確認する。	る		

<p>ではないということを押さえ、大きな魚とのかかわり合いを読み取る。(仮説1・2)</p> <p>・ホンソメワケベラも食べ物を手に入れて得をしていることを押さえる。</p>	<p>・掃除をして捕った虫がホンソメワケベラの食べ物になることを確認する。</p>		<p>(4) 教師と一緒においしく食べる工夫とできる食品について読み取る。</p> <p>・「こなにひく」という内容を読みとる。</p> <p>・「すりつぶす」「布を使ってしぼり出す」かためるためにニガリをくわえる」という内容を読み取る。</p>	<p>どことなくふうをするのかに着目して読み取りをさせることで正しい読み取りにつなげる。(仮説2)</p>
<p>具体的評価規準</p> <p>A ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを書いている。</p> <p>B どちらか一方の立場になって書いている。</p> <p>Cへの支援 板書や学習した事柄を振り返らせる。</p> <p>・お互いの自慢や相手への感謝の言葉が書かれるようにする。</p> <p>・振り返りカードを使って評価させる。</p> <p>・次時は、動作化でかかわり合いを確認することを伝える。</p>	<p>3 本時の学習のまとめをする。</p> <p>・ホンソメワケベラと大きな魚になって吹き出しを書く。</p> <p>わたしはホンソメワケベラです。大きな魚の虫をとるんだよ魚さん気持ちいい。魚さんの虫はわたしのえさになるんだよありがとう。</p> <p>わたしは大きな魚だホンソメワケベラさん虫をとってくれてありがとう。すっきりしたなあ。</p> <p>4 相互評価・自己評価をし、発表する。</p> <p>・3年生に吹き出しを発表し、評価してもらおう。</p> <p>・3年生の評価を参考にさせながら自己評価をさせる。</p> <p>5 次時の学習内容を確認かめる。</p>	<p>ま と め る</p>	<p>3 本時の学習のまとめをする。</p> <p>・学習課題についてまとめる。</p> <p>4 相互評価・自己評価をし、発表する。</p> <p>・「きなこ・とうふ」「こなにひく・しぼり出す」の説明を3年生にし、評価してもらおう。</p> <p>・2年生の評価を参考にしながら自己評価をさせる。</p> <p>5 次時の学習内容を確認かめる。</p>	<p>・工夫と食品とを結びつけられるよう教師と一緒に整理していく。</p> <p>具体的評価規準</p> <p>A 教科書の言葉と写真などを結びつけながらふうと食品について説明している。</p> <p>B くふうと食品について説明している。</p> <p>Cへの支援 教科書や板書ノートなどを振り返らせ教師と一緒に説明させる。</p> <p>・次時は、さらにどことなくふうがあるかを学習することを伝える。</p>
<p>次時の活動</p>				
<p>イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを動作化で確認する。</p> <p>・今まで学習したことをもとにしてクマノミが安全なわけを動作化する。(仮説1・2)</p> <p>・イソギンチャクが安全なわけを動作化する。(仮説1・2)</p>	<p>4・5つ目のくふうとできる食品を読み取る。</p> <p>・接続語やくふうを表す言葉に着目して小さな生物の力を作りて違う食品にする工夫を読み取る。(仮説2)</p> <p>・取り入れる時期や育て方を工夫した食べ方を読み取る。(仮説2)</p>			

課題

ホンソメワケベラと大きな魚はどんなにかわり合いをしているのだろう。

写真

ホンソメワケベラ  
大きな魚

食べられることはありません

大きな魚  
大きな魚たちは、からだについた虫をホンソメワケベラがとってきれいにしてくれるのを知っているから。

かわり合い

ホンソメワケベラ そつじ魚  
そつじをしてとつた虫がホンソメワケベラの食べものになる。

写真

教材文

課題

おいしく食べるくふうとできる食品はなんだろう。

次に

こなにひいて食べるくふう。

挿絵

きなこ写真

また

大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがつ食品にするくふう。

挿絵

すりつぶす  
しぼり出す  
ニガリを入れる

豆腐写真

とうふ

教材文

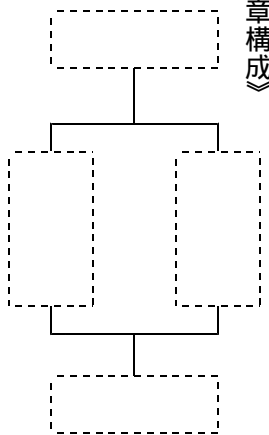
第二学年 教材文分析表

単元名 だいじなところに 気をつけてよもう  
 教材名 サンゴの海の生きものたち もとかわ たつお

要旨 サンゴの海では、たくさん生き物たちが、たがいに役に立つようにさまさまに関わり合って暮らしている。

段落	小見出し 形式段落	要点	読みとりに必要な キーワード	重点化した指導内容に 関係する言語事項
	前書き	サンゴの海には、たがいにやくに立つようにかわり合っていてくらしている生きものがいる。 どんな生き物たちが、どんなかわり合いをしているのか。	たがいにやくにたつように かわり合い	それらの中
話題の具体例 1	イソギンチャクとクマノミのまもりあい	イソギンチャクは細長いしよく手を持ち、しよく手のあいだにクマノミがいる。 しよく手には、どくのはりがある。でも、クマノミはさされない。 クマノミはイソギンチャクの中にと安全である。 クマノミはカチカチと音を立てて魚をおいはらいイソギンチャクを守っている。	しよく手 おわれる おいはらう まもり合っている	でもありません だからです
話題の具体例 2	ホンソメワケベラと大きな魚のかかり合い方	ホンソメワケベラも、美しい魚の一つである。 ホンソメワケベラは、大きな魚の体の中や口の中についた虫をとって、きれいに体をそうじする。 ホンソメワケベラは、そうじ魚とよばれている。そうじをして、とった虫が食べものになる。	ただ 食べられることはない そうじ魚 食べもの	でもありません
まとめ	生きものたちは、さまざまにかわり合っていてくらしている	たくさん生きものたちが、さまざまにかわり合っていてくらしている。		このように

《文章構成》



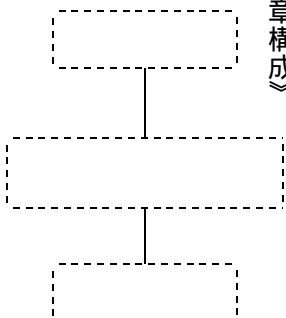
第三学年 教材文分析表

単元名 大事なことを たしかめよう  
 教材名 すがたをかえる大豆 国分 牧衛

要旨 大豆はいろいろすがたで食べられている。大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされる。

段落	小見出し 形式段落	要点	読みとりに必要な キーワード	重点化した指導内容に 関係する言語事項
まとめ	話題の説明	話題提示		
多くの食べ方が考えられた理由と筆者の感想	おいしく食べるための工夫	ほとんど毎日、食べている大豆	調理 手をくわえる	なんだか分かりませんが、それは、大豆です。そのため、していません。 おいしく食べる工夫
		その形のままでいたり、にたりするといり豆、に豆になる。 大豆をいって粉にひくと、きな粉になる。 水をふくんだ大豆をすりつぶして出た汁をさらにしぼってかためると豆腐になる。 目に見えない小さな生物の力で、納豆やみそ、しょうゆができる。 やわらかいうちに取り入れてゆでるとえだ豆ができ、種も日光に当てずに水で育てるともやしができる。	いる おせち料理 粉にひく すりつぶす。 しぼり出す ニガリ 小さな生物 やわらかいうちに日光に当てずに	いちばん分かりやすいのは、くするくふうです。 次にくふうもありません。 また、くくふうもありません。 さらに、くくふうもあります。 これらのほかに、く食べ方もあります。
		米、麦以外にも、ほとんど毎日大豆を食べているが、すがたをかえているので気づかれない。 大豆は、ダイズの種である。かたいので食べにくく、消化も悪いので、いろいろ手をくわえておいしく食べる工夫をしている。		
		味がよく、えいようがほつふでやせた土地に強く、育てやすいので多くの食べ方が考えられた。 大豆のよさに気づき、食事の取り入れた昔の人々のちえにおどろいた。	畑の肉 昔の人々のちえ	くのは、くです。 そのうえ、くためでもあります。

《文章構成》





サンゴの海の生きものたち 個人カルテ

名前

めざす子ども像	事柄の順序を中心に内容の大体をつかむことができる。						
単元の重点指導内容	事柄の順序に気をつけて読む。						
実態	・あつまれ、楽器単元テスト/100 ・順序を表す言葉が分かる。			・主語、述語が分かる。 ・あつまれ、楽器をはっきり読む。			
初発の感想							
毎時間の評価規準	日時	指導事項					
		説明の順序や内容を考えて読む	主語・述語のつながり		関心・意欲	自己評価	備考
海の生き物について関心を持っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
学習の見通しを持っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
話題提示の文を読み取っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて読み取っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読み取っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを動作化で確認している。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを動作化で確認している。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
かかわり合いを中心に感想を書いている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
さらに知りたい生き物について考えている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
海の生き物の本を読んでいる。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
本から読み取ったことをカードに写している。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
友だちの文の良さを見つけている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
単元の終了	(最終の感想)		・「サンゴの海の生きものたち」単元テスト /100 ・学習を生かして、海の生き物に興味を持って図書室の本などを読んでいる。				

すがたをかえる大豆 個人カルテ

名前

めざす子ども像	段落相互の関係を考えながら中心的事柄を読みとることができる。						
単元の重点指導内容	段落のまとまりを考えながら、中心的な文を捉えさせる。						
実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤドカリのすみかえ靴テスト /100</li> <li>・主語、述語が分かる。</li> <li>・つなぎ言葉が分かる。</li> <li>・ヤドカリのすみかえをはっきり読む。</li> </ul>						
初発の感想							
毎時間の評価規準	日時	指導事項					
		まとまりを考えて読む。	中心文を見つける。	関心・意欲	自己評価	備考	
すがたをかえる大豆について関心を持っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
学習の見通しを持っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
「いろいろ手を加えておいしく食べる工夫」を見つけそれを読み取っていくという学習の仕方を理解している。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
大豆がそのままの形で加工する工夫について読み取っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
粉に引いて食べる工夫・栄養をとりだして違う食品にする工夫について読み取っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
小さな生物の力を借りて違う食品にする工夫・時期や育て方の工夫について読み取っている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
初め・中・終わりという構成になっていることを理解している。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
それぞれの段落に小見出しをつけている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
図書室で米について調べメモしている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
教科書の文を参考にして短作文を書いている。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
友だちの作文の良さを発表している。 A B C	/	4 3 2 1	4 3 2 1				
単元の終了 (最終の感想)						<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」単元テスト /100</li> <li>・学習を生かして、様々な食材に着目しておいしく食べる工夫について考えている。</li> </ul>	